MBL A JSR Life Sciences Company

APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit

作成日: 2023年09月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit
   SDS NO:4800_100M_J-1
   構成品名:Cell Lysis Buffer
   品番:4800
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 試験研究用
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018ー1
   担当部署 : SDSサポート
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示なし
   注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
HEPES	2.38	7365-45-9	-	-
塩化ナトリウム	0.58	7647-14-5	1-236	-
塩化カルシウム・二水和物	0.02	10035-04-8	1-176	-
塩化マグネシウム・六水和物	0.02	7791-18-6	1-233	-
グリセリン	10.00	56-81-5	2-242	-
ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル=エーテル	0.05	9016-45-9	7-172	Skin Irrit. 2, H315; Eye Irrit. 2A, H319; Repr. 2, H361; Aquatic Acute 1, H400; Aquatic Chronic 2, H411;
CHApS	0.10	75621-03-3	-	-
アジ化ナトリウム	0.09	26628-22-8	1-482	Self-react. G; Acute Tox. 2, H300; Acute Tox. 1, H310; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; STOT RE 2, H373; Aquatic Acute 1, H400; Aquatic Chronic 1, H410;
水	86.00	7732-18-5	-	-

4. 応急措置
4.1 応急措置の記述
一般的な措置
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
気分が悪いときは医師に連絡すること。
4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置
5.1 消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし
5.3 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置
6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
6.2 環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意
7.1 取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(アジ化ナトリウム)

ACGIH(1996) STEL: 上限値 (アジ化ナトリウムとして) 0.29mg/m3; (アジ化水素酸の蒸気として) 0.11ppm (心臓障害; 肺損傷)

8.2 ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体

色 : 無色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH : 7.2

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性
反応性データなし
10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし
10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし
10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報
11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)
急性毒性(経皮)
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)
急性毒性(吸入)
労働基準法:疾病化学物質
アジ化ナトリウム
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル=エーテル)
ヒト 一次刺激性 (NITE有害性評価書, 2007)
(アジ化ナトリウム)
ラビット 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル=エーテル)
ラビット 中等度から強度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2007)
(アジ化ナトリウム)
皮膚腐食性 区分1
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[ACGIH]
(アジ化ナトリウム)
A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性　短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル=エーテル)

甲殻類 (ミシッドシュリンプ) LC50=0.71-2.2mg/L/48hr

(環境省リスク評価第7巻, 2009)

(アジ化ナトリウム)

藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)

水生環境有害性　長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル=エーテル)

魚類 (ファットヘッドミノー) NOEC (成長)=1mg/L/7days (NITE初期リスク評価書, 2005)

水溶解度

(グリセリン)

混和する (ICSC, 2006)

(アジ化ナトリウム)

よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17℃) (ICSC, 2014)

12.2 残留性・分解性

[成分データ]

(ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル=エーテル)

BODによる分解度：0% (既存点検, 1982)

(アジ化ナトリウム)

直接測定(HPLC)による分解度：1% (既存点検)

12.3 生体蓄積性

[成分データ]

(グリセリン)

log Pow=-1.76 (ICSC, 2006)

(アジ化ナトリウム)

log Pow <= 0.3 (Check & Review, Japan)

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

12.7 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Z類)
グリセリン
有害液体物質(Z類同等)
塩化ナトリウム
有害でない物質(OS類)
水

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。
高圧ガス保安法に該当しない。
化審法

優先評価化学物質

ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル=エーテル

日本法規に該当しない。

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.24 (https://www.asahi-ghs.com/)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度(2021年度))です。

MBL A JSR Life Sciences Company

APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit

作成日: 2023年09月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit
   SDS NO:4800_200M_J-1
   構成品名:2X Reaction Buffer
   品番:4800
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 試験研究用
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018ー1
   担当部署 : SDSサポート
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示なし
   注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
HEPES	2.38	7365-45-9	-	-
塩化ナトリウム	2.34	7647-14-5	1-236	-
エチレンジアミン四酢酸二水素二カリウム	0.37	25102-12-9	2-1265	-
グリセリン	10.00	56-81-5	2-242	-
CHApS	0.10	75621-03-3	-	-
水	84.00＜	7732-18-5	-	-

4. 応急措置
   4.1 応急措置の記述
   一般的な措置
   気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
   吸入した場合
   気分が悪いときは医師に連絡すること。
   皮膚(又は髪)に付着した場合
   皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
   眼に入った場合
   水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。そ

の後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.3 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標
管理濃度データなし
8.2 ばく露防止
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質
9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 無色
臭いデータなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 知見なし
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし
9.2 その他のデータ
その他のデータなし

10. 安定性及び反応性
10.1 反応性
反応性データなし
10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし
10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし
10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性データなし
皮膚腐食性/刺激性データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性データなし
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
生態毒性データなし
水溶解度
(グリセリン)
混和する (ICSC, 2006)
12.2 残留性・分解性
残留性・分解性データなし
12.3 生体蓄積性
[成分データ]
(グリセリン)
log Pow=-1.76 (ICSC, 2006)
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
14.5 環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
14.6 特別の安全対策
特別の安全対策データなし
14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(Z類)
グリセリン
有害液体物質(Z類同等)
塩化ナトリウム
有害でない物質(OS類)
水
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令
15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
高圧ガス保安法に該当しない。
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。
日本法規に該当しない。
15.2 化学安全性評価
本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.24 (https://www.asahi-ghs.com/)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和3年度（2021年度））です。

MBL A JSR Life Sciences Company

APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit

作成日: 2023年09月20日
最終改訂日: 2023年10月25日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
      製品名称 : APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit
      SDS NO:4800_300M_J-2
      構成品名:1M DTT
      品番:4800
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
      推奨用途 : 試験研究用
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
      供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
      住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018ー1
      担当部署 : SDSサポート
      電話番号 : 0265-76-1777
      e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
      健康に対する有害性
         皮膚腐食性/刺激性:区分 2
         眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2
   2.2 GHSラベル要素

      注意喚起語:警告
      危険有害性情報
         H315 皮膚刺激
         H319 強い眼刺激
      注意書き
         安全対策
            P264 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
            P280 保護手袋を着用すること。
            P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。
         応急措置
            P302 + P352 皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
            P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
            P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
            P305 + P351 + P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
            P337 + P313 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
ジチオスレイトール	15.40	3483-12-3	-	-
水	84.00<	7732-18-5	-	-

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

（皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状）

刺激性

眼刺激

4.3 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.2 特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
保護手袋を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし
ACGIH 許容濃度データなし

8.2 ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体
色 : 無色
臭いデータなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性（ガス、液体及び固体）データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
分解温度データなし
pH : 知見なし
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度 : 溶ける
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

9.2 その他のデータ
その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性
反応性データなし

10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]

区分4 に分類される成分
ジチオスレイトール(15.4%)
区分4 に分類される成分の含有量比率合計 = 15.4%
本製品の急性毒性(経口)の推定値ATEmixは、以下の式に従って決定される。
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量比率合計/区分1のATE) + (区分2に分類される成分の含有量比率合計/区分2のATE) + (区分3に分類される成分の含有量比率合計/区分3のATE) + (区分4に分類される成分の含有量比率合計/区分4のATE)
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量比率合計/(0.5mg/kg-bw)) + (区分2に分類される成分の含有量比率合計/(5mg/kg-bw)) + (区分3に分類される成分の含有量比率合計/(100mg/kg-bw)) + (区分4に分類される成分の含有量比率合計/(500mg/kg-bw))
本式をATEmix について解くと、ATEmix = 3246.753(mg/kg-bw)
300 < 区分4 <= 2000 の範囲を超えるため、区分に該当しない。

[成分データ]

[会社固有データ]
(ジチオスレイトール)
ラット LD50=400mg/kg (原料メーカーSDS)

急性毒性(経皮)

[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]

急性毒性(経皮) の区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
急性毒性(吸入)
[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]
急性毒性(吸入) の区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分 2, 皮膚刺激
[成分情報を用い加成方式を適用した分類根拠]
皮膚区分2 に分類される成分
ジチオスレイトール(15.4%)
皮膚区分2 に分類される成分の含有量合計 = 15.4%
(10 x 皮膚区分1) + 皮膚区分2 >= 10% であるため、皮膚区分2に分類した。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 2, 強い眼刺激
[成分情報を用い加成方式を適用した分類根拠]
眼区分2A に分類される成分
ジチオスレイトール(15.4%)
眼区分2/2A/2B に分類される成分の含有量合計 = 15.4%
10 x (皮膚区分1 + 眼区分1) + 眼区分2 >= 10% であるため、眼区分2に分類した。
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
[成分情報を用いた分類根拠]
呼吸器感作性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
皮膚感作性
[成分情報を用いた分類根拠]
皮膚感作性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
生殖細胞変異原性
[成分情報を用いた分類根拠]
生殖細胞変異原性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
発がん性
[成分情報を用いた分類根拠]
発がん性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
生殖毒性
[生殖毒性:成分データを用いた分類根拠]
生殖毒性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
[授乳に対する又は授乳を介した影響(追加区分): 成分データを用いた分類根拠]
授乳影響を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[成分情報を用いた分類根拠]
区分3 (気道刺激性) に分類される成分
ジチオスレイトール(15.4%)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)を有する成分を分類基準以上含有しないため、区分に該当しない。
[成分データ]
[区分3(気道刺激性)]
[会社固有データ]
(ジチオスレイトール)
気道刺激性 (ECHA CL Inventory, Access on October 2023)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[成分情報を用いた分類根拠]
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
誤えん有害性

[成分情報を用いた分類根拠]
誤えん有害性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性

[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠　短期(急性)]
短期（急性）区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠　長期(慢性)]
長期（慢性）区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

12.2 残留性・分解性

残留性・分解性データなし

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性データなし

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

12.7 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害でない物質(OS類)
水

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。
15.2 化学安全性評価
本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.25 (https://www.asahi-ghs.com/)

改訂履歴
第1版: 2023/09/20
改訂2版:2023/10/25

責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。

MBL A JSR Life Sciences Company

APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit

作成日:　2023年09月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
      製品名称 : APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit
      SDS NO:4800_400M_J-1
      構成品名:Substrate DEVD-pNA(10mM)
      品番:4800
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
      推奨用途 : 試験研究用
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
      供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
      住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018ー1
      担当部署 : SDSサポート
      電話番号 : 0265-76-1777
      e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
      健康に対する有害性
         特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2
   2.2 GHSラベル要素

      注意喚起語:警告
      危険有害性情報
         H371 臓器の障害のおそれ
      注意書き
         安全対策
            P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
            P264 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
            P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
         応急措置
            P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
         廃棄
            P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
Ac-DEVD-pNA	0.64	189950-66-1	-	-
ジメチルスルホキサイド	99.00<	67-68-5	2-1553	Flam. Liq. 4, H227; STOT SE 2, H371;

危険有害成分
安衛法「表示すべき有害物」該当成分
ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)
安衛法「通知すべき有害物」該当成分
ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
吸入した場合
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.3 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途
第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標
管理濃度データなし

8.2 ばく露防止
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 淡黄色
臭いデータなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性（ガス、液体及び固体）データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 知見なし
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性
10.1 反応性
反応性データなし
10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし
10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし
10.6 危険有害な分解生成物
硫黄酸化物

11. 有害性情報
11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
rat LD50=14500mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)
急性毒性(経皮)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
rat LD50=40000mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)
急性毒性(吸入)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
mist: rat LC50 >5330mg/m3 (5.33mg/L) (SIDS, 2008)
局所効果
皮膚腐食性/刺激性データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性データなし
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分2]
[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
呼吸器 (SIDS, 2008)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性　短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

甲殻類 (ブラインシュリンプ) EC50=6830mg/L/24hr(環境省リスク評価第13巻, 2015)

水溶解度

(ジメチルスルホキサイド)

混和する (ICSC, 2000)

12.2 残留性・分解性

残留性・分解性データなし

12.3 生体蓄積性

[成分データ]

(ジメチルスルホキサイド)

log Pow=-1.35 (calculated) (ICSC, 2000)

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

12.7 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)

名称通知危険/有害物

ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

高圧ガス保安法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.24 (https://www.asahi-ghs.com/)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品

の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和3年度（2021年度））です。

MBL A JSR Life Sciences Company

APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit

作成日:　2023年09月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称 :

製品名称 : APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit
SDS NO:4800_500M_J-1
構成品名:Inhibitor DEVD-FMK(1mM)
品番:4800

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 試験研究用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018ー1
担当部署 : SDSサポート
電話番号 : 0265-76-1777
e-mail address : sds-support@mbl.co.jp

1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

2.1 GHS分類

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2

2.2 GHSラベル要素

注意喚起語:警告

危険有害性情報

H371 臓器の障害のおそれ

注意書き

安全対策

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。

廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
Z-DEVD-FMK	0.05	210344-95-9	-	-
ジメチルスルホキサイド	99.00<	67-68-5	2-1553	Flam. Liq. 4, H227; STOT SE 2, H371;

危険有害成分
安衛法「表示すべき有害物」該当成分
ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)
安衛法「通知すべき有害物」該当成分
ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
吸入した場合
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.3 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途
第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標
管理濃度データなし

8.2 ばく露防止
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 淡黄色
臭いデータなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性（ガス、液体及び固体）データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 知見なし
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性
10.1 反応性
反応性データなし
10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし
10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし
10.6 危険有害な分解生成物
硫黄酸化物

11. 有害性情報
11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
rat LD50=14500mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)
急性毒性(経皮)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
rat LD50=40000mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)
急性毒性(吸入)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
mist: rat LC50 >5330mg/m3 (5.33mg/L) (SIDS, 2008)
局所効果
皮膚腐食性/刺激性データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性データなし
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分2]
[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
呼吸器 (SIDS, 2008)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

水生環境有害性　短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

甲殻類 (ブラインシュリンプ) EC50=6830mg/L/24hr(環境省リスク評価第13巻, 2015)

水溶解度

(ジメチルスルホキサイド)

混和する (ICSC, 2000)

12.2 残留性・分解性

残留性・分解性データなし

12.3 生体蓄積性

[成分データ]

(ジメチルスルホキサイド)

log Pow=-1.35 (calculated) (ICSC, 2000)

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

12.7 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）: 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)

名称通知危険/有害物

ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

高圧ガス保安法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.24 (https://www.asahi-ghs.com/)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によっ

て改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和3年度（2021年度））です。

MBL A JSR Life Sciences Company

APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit

作成日:　2023年09月21日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
      製品名称 : APOPCYTO Caspase-3 Colorimetric Assay Kit
      SDS NO:4800_600M_J-1
      構成品名:100mM pNA(p-nitroanilide)
      品番:4800
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
      推奨用途 : 試験研究用
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
      供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
      住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018ー1
      担当部署 : SDSサポート
      電話番号 : 0265-76-1777
      e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡先電話 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   化学品のGHS分類、GHSラベル要素
   2.1 GHS分類
      健康に対する有害性
         特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2
         特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2
   2.2 GHSラベル要素

      注意喚起語:警告
      危険有害性情報
         H371 臓器の障害のおそれ
         H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
      注意書き
         安全対策
            P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
            P264 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
            P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
         応急措置
            P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
            P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
         廃棄
            P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
p-ニトロアニリン	1.38	100-01-6	3-392	Acute Tox. 4, H302; Repr. 2, H361; STOT SE 1, H370; STOT SE 3, H336; STOT RE 1, H372; Aquatic Acute 3, H402; Aquatic Chronic 2, H411;
ジメチルスルホキサイド	98.00＜	67-68-5	2-1553	Flam. Liq. 4, H227; STOT SE 2, H371;

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

p-ニトロアニリン ,

ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

p-ニトロアニリン ,

ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.3 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(p-ニトロアニリン)

日本産衛学会(1995) 3mg/m3 (皮)

(p-ニトロアニリン)

ACGIH(1996) TWA: 3mg/m3 (メトヘモグロビン血症; 肝臓損傷; 眼刺激)

特記事項

(p-ニトロアニリン)

皮膚吸収

8.2 ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体

色 : 淡黄色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 知見なし
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

9.2 その他のデータ
その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性
反応性データなし

10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物
硫黄酸化物

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(p-ニトロアニリン)
rat LD50=1049mg/kg (計算値)
(ジメチルスルホキサイド)
rat LD50=14500mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)

急性毒性(経皮)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
rat LD50=40000mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)

急性毒性(吸入)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
mist: rat LC50 >5330mg/m3 (5.33mg/L) (SIDS, 2008)

労働基準法:疾病化学物質
p-ニトロアニリン
局所効果
皮膚腐食性/刺激性データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[成分データ]
[ACGIH]
(p-ニトロアニリン)
A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(p-ニトロアニリン)
cat. 2; ACGIH 7th, 2001
催奇形性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(p-ニトロアニリン)
血液 (ACGIH 7th, 2001)
[区分2]
[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
呼吸器 (SIDS, 2008)
[区分3(麻酔作用)]
[日本公表根拠データ]
(p-ニトロアニリン)
麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(p-ニトロアニリン)
血液 (ACGIH 7th, 2001)
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
水生環境有害性
[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)
[日本公表根拠データ]
(p-ニトロアニリン)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=22mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2011)

(ジメチルスルホキサイド)
甲殻類 (ブラインシュリンプ) EC50=6830mg/L/24hr(環境省リスク評価第13巻, 2015)
水生環境有害性　長期(慢性)
[日本公表根拠データ]
(p-ニトロアニリン)
藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC=0.94mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2011)
水溶解度
(p-ニトロアニリン)
0.08 g/100 ml (18.5℃) (ICSC, 2001)
(ジメチルスルホキサイド)
混和する (ICSC, 2000)
12.2 残留性・分解性
[成分データ]
(p-ニトロアニリン)
急速分解性なし (BODによる分解度 : 0%, (既存点検, 1977))
12.3 生体蓄積性
[成分データ]
(p-ニトロアニリン)
log Pow=2.66 (ICSC, 2001); BCF=3.6(Check & Review, Japan)
(ジメチルスルホキサイド)
log Pow=-1.35 (calculated) (ICSC, 2000)
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IATA (航空危険物規則書)
14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない
14.2 正式輸送名 : 該当しない
14.3 分類または区分 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
14.5 環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当

14.6 特別の安全対策
特別の安全対策データなし
14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質
p-ニトロアニリン
水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質
p-ニトロアニリン
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令
15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
p-ニトロアニリン;
ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)
名称通知危険/有害物
p-ニトロアニリン;
ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
高圧ガス保安法に該当しない。
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。
15.2 化学安全性評価
本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.24 (https://www.asahi-ghs.com/)
改訂履歴
改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和3年度（2021年度））です。